

VegeBalloon ベジバルーンレター

(10月 神無月)

おいしい野菜には多様性があります。

色々な切り方、あわせる調味料、煮る、焼く、揚げる、、、そのまま生で。

一見、調理が難しそうなお野菜でも、おいしいストーリーがある野菜たちは”ただそのまま”でもおいしかったり。

10月の和風月名は神無月（かんなづき）。名前の由来は諸説ありますが、全国の八百万の神様が出雲大社へ会議に出かけてしまうと考えられてきました。

その為、神様が出かけてしまう国では「神無月」、反対に出雲の国では「神在月」と言われておりました。

また、「神無月」の無を”の”と解して「神の月」とする説もありますが、「神無月」も「神在月」も、神々が集う大切な月という意味です。年に一度、出雲大社に集まった神様たちは、人の運命やご縁などを話し合うと言われていました。その為、出雲大社は縁結びの総本山でもありますよね。

また、来年の天候、農作物や酒の出来なども話し合われているそうです。なんだかとっても楽しそう♪

さて、二十四節季では10/8～10/22頃までを寒露（かんろ）

夜が長くなり露が冷たく感じる頃。空気が澄んで秋晴れの過ごしやすい天気が多く、夜空を見上げるとお月さんがきれいに見える季節です。

また10/24～11/7頃を霜降（そうこう）。

朝晩の冷え込み北国や山里では露が霜にかわり霜が降り始めだんだんと季節は冬へうつりかわります。

稲刈りも全国的に一段落して、農家さんたちも冬の作物の準備へと切り替わります。朝晩の冷え込みも増し、だんだんと冬支度へ。七十二候の「蟄虫坏戸（むしかくれてとをふさぐ）」も、「穴まどひ」という言葉をご存知でしょうか。秋分をすぎても、穴に入らないヘビのまなざし。「秋の蛇」ともいいますが、ヘビをみた人がヘビの冬越しを思いやる気持ちが含まれた言葉です。春分前の「蟄虫啓戸（すごもりむしとをひらく）」と対になっております。まさに秋が深まりつつあり、冬へ向かうそんな季節。お野菜たちも冬本番へ向かってどんどんおいしくなるのでたくさん食べて心も身体も冬支度を。

今月も新たな野菜との出会いがたくさんあり、おいしいWKWKな食卓になること願って♡



種採り用大荷田きゅうりと田んぼ

Let's Vege love Cooking !